



仙 台 市  
コンプライアンス  
推 進 計 画



(骨子)



# 目次

1. 計画の目的	.....	1
2. 計画期間	.....	2
3. 施策体系	.....	2
4. 推進に向けて	.....	8

# 1 計画の目的

本市では、平成 27 年度に職員の行動の基本となる「仙台市コンプライアンス行動規範集」を策定いたしました。

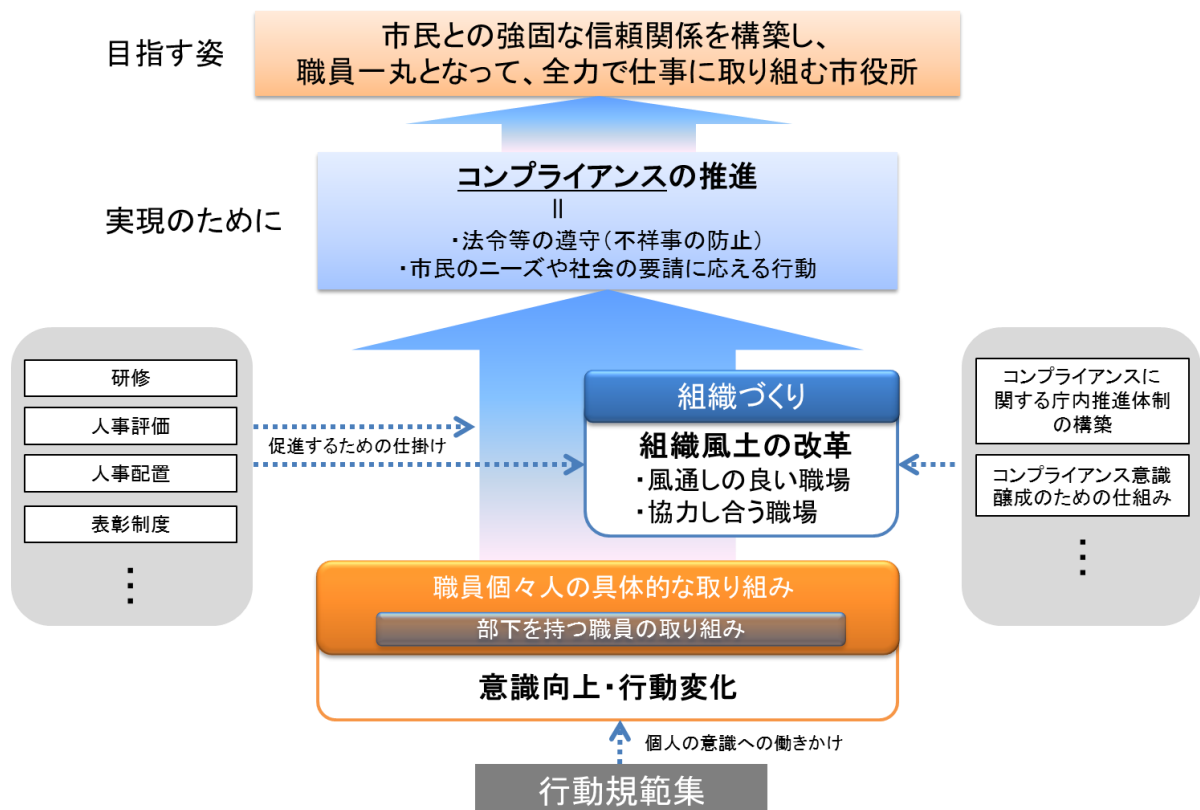
その中において、本市が目指す姿として、「市民との強固な信頼関係を構築し、職員一丸となって、全力で仕事に取り組む市役所」を掲げ、その実現のために、コンプライアンスを推進していくことを謳っております。

本市では、コンプライアンスを法令等の遵守（不祥事の防止）のみならず、市民のニーズや社会の要請に応える行動と捉え、市政運営の基盤となる市民との強固な信頼関係を構築していくことを目的として、コンプライアンスの推進を図っていくこととしております。

コンプライアンスの推進のためには、職員個々人のコンプライアンス意識の向上やそれに基づく行動変化、そして、誰もが意見を言い合うことで対話を行い、協力し合える職場づくりが重要となります。また、コンプライアンス意識を向上させていくためには、職員個々人の行動だけでなく、それらを支え、促進するための体制や仕組みも重要です。

本計画は、職員一人ひとりへのコンプライアンス意識の醸成や、風通しがよく、協力し合う職場などの組織づくりを促進していくための仕組みや仕掛けなどについてまとめたものであり、これらの取り組みを通して、本市におけるコンプライアンスを推進してまいります。

## <コンプライアンス推進の全体像>



## 2

## 計画期間

平成28年度から平成30年度までの3か年とします。

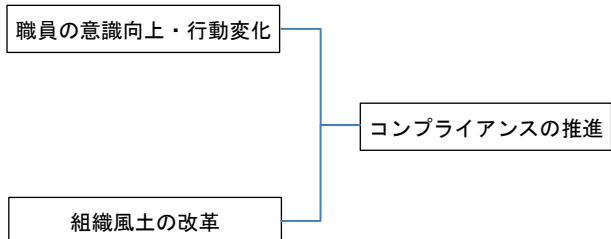
## 3

## 施策体系

私たち仙台市職員は、市民との強固な信頼関係の構築に向けて、職員の行動の根本原則である、「その判断が最善であると市民に説明できますか？」という言葉に常に立ち返りつつ、行動規範集に掲げる四つの実践行動の促進に資する施策に取り組むことで、職員個々人のコンプライアンス意識の向上や、それに基づく行動変化を図るとともに、誰もが意見を言い合い、対話し、協力し合える職場づくりのための組織風土改革を進めてまいります。そのための施策体系は、以下のとおりとなります。

### <四つの実践行動>

- 私は、市民の目線を大切に、仕事をします。
- 私は、法令等を遵守し、公務内外にわたり、高い倫理観を持って行動します。
- 私は、正確性を期し、積極果敢に仕事をします。
- 私は、チーム力を高め、よりよい仕事をします。



(1) 私は、市民の目線を大切に、仕事をします。

施策 1 市民応対等に関する研修の実施

施策 2 「市民の声」制度の運用

施策 3 窓口サービスアンケートの実施

(2) 私は、法令等を遵守し、公務内外にわたり、高い倫理観を持って行動します。

施策 4 法令等の遵守に関する研修の実施

施策 5 公務員倫理・サービスに関するセルフチェックの実施

施策 6 適正事務の執行に係る各種調査等の実施

施策 7 セクシュアル・ハラスメント防止のための制度の運用

施策 8 仙台市職員相談・通報窓口の運用

施策 9 職員の懲戒処分に関する指針等の周知

(3) 私は、正確性を期し、積極果敢に仕事をします。

施策 1 0 仕事の正確性や業務の改善等に資する研修の実施

施策 1 1 リスクマネジメントの運用

施策 1 2 業務改善制度の運用

(4) 私は、チーム力を高め、よりよい仕事をします。

施策 1 3 チーム力を高めるための研修の実施

施策 1 4 職場ミーティング等の励行

施策 1 5 オフサイトミーティングや職場訪問等の実施

(5) コンプライアンス全般に関わる施策

施策 1 6 コンプライアンス推進に係る役職者への研修の実施

施策 1 7 定期通信の発行

## (1) 私は、市民の目線を大切に、仕事をします。

市民の信頼を得るために、私たちには、市民の目線を大切に、仕事をするのが求められます。そのためには、市民対応等についての基礎を学ぶことや、市民の声のほか、日常の対応の中で寄せられる市民からの意見や要望などに耳を傾け、サービスの向上に努めていくことが必要です。

### 施策 1 市民対応等に関する研修の実施

【目的】 ビジネスマナーの基本やコミュニケーションスキルなど、市民の目線に立って仕事を行うための接遇の知識や心構えなどを学ぶ。

### 施策 2 「市民の声」制度の運用

【目的】 市政に対する市民の意見や要望などに耳を傾け、市民のニーズを正しく把握し、反映できる意見や要望は積極的に取り入れるなど、市民の目線に立った行政運営を行う。

### 施策 3 窓口サービスアンケートの実施

【目的】 行政サービスの重要な要素である職員の窓口での対応について、定期的に市民の意見を把握し、接遇や仕事を進めるシステムなど、市民の目線に立って、継続的な点検・改善を行う。

## (2) 私は、法令等を遵守し、公務内外にわたり、高い倫理観を持って行動します。

法令等の定めに沿って、確実に業務を遂行する。全体の奉仕者として公平・公正に仕事を行うとともに、公務外であっても自覚を持って行動するというのが私たちには求められます。

そのためには、ルールを守るということについて、職員個々人が意識を持つということに加えて、法令等を守り、業務等を行っていくためのシステムの運用を図っていくことが必要です。

### 施策 4 法令等の遵守に関する研修の実施

【目的】 公務員として押さえておくべき、基本となる法令や組織のルールなどを習得し、公平・公正に仕事を行うとともに、職員個々人が、公務内外にわたり、高い倫理観を持って行動するという意識を醸成する。

## **施策 5 公務員倫理・サービスに関するセルフチェックの実施**

【目的】 法令や組織内のルールを守り、適正な事務を執行する、倫理に反しないように、良心に従った行動を取るなど、職員個々人が、コンプライアンス意識を確保するために必要となる、公務員倫理やサービス上の基本的なルールなどのセルフチェックを実施することで、自らのサービスのあり方について振り返る機会を持つ。

## **施策 6 適正事務の執行に係る各種調査等の実施**

【目的】 公務の基本となる文書事務や情報セキュリティ、契約事務や会計事務などについて調査・点検などを行い、法令等のルールに従った適正な事務の執行を確保する。

## **施策 7 セクシュアル・ハラスメント防止のための制度の運用**

【目的】 相談員、相談窓口の設置等により、セクシュアル・ハラスメントを防止し、職員の利益の保護及び職員の能力の発揮、良好な職場環境の確保を図る。

## **施策 8 仙台市職員相談・通報窓口の運用**

【目的】 法令や組織内のルールを守り適正な事務を執行することや、倫理に反しないように良心に従った行動を取ることで、組織全体でコンプライアンスの確保を図っていくために、職場内での不正行為等について、職員の声を幅広く集め、不正防止や具体の事案改善を図る。

## **施策 9 職員の懲戒処分に関する指針等の周知**

【目的】 職員の懲戒処分に関する指針等の周知により、職員の公務員としての自覚を喚起し、非違行為の発生防止につなげる。

### **(3) 私は、正確性を期し、積極果敢に仕事をします。**

法令等に基づいて、正確な仕事をすることは公務への信頼の根幹となりますが、一方で、ミスが発生することもあります。まずは、ミスを減らすために、リスクへの対策を立てる、そして、前例にとらわれず、不断に創意工夫を加え、業務を改善していくことが、よりよいサービスを提供していくことにつながります。

#### **施策10 仕事の正確性や業務の改善等に資する研修の実施**

**【目的】** マニュアルの作成による業務の見える化や業務の効率化、改善の手法を学び、正確な仕事や業務の改善を進める。

#### **施策11 リスクマネジメントの運用**

**【目的】** 適正な事務を執行するために、各所属の所管業務におけるリスクについて、所属職員が認識を共有したうえで、リスク対策が確実に実行される枠組みを構築し、事務ミス等の減少に努める。

#### **施策12 業務改善制度の運用**

**【目的】** 業務改善に関する職員の積極的な意見提案を通して、職員の能力向上と業務改善に向けた職員の意識や組織風土の普及・定着を図る。

### **(4) 私は、チーム力を高め、よりよい仕事をします。**

私たちは、組織（チーム）で仕事をしています。チーム力を高め、よりよい仕事をしていくためにも、まずは、職員同士、上司とのコミュニケーションを大切にし、風通しのよい職場を作っていくことが大切です。

#### **施策13 チーム力を高めるための研修の実施**

**【目的】** 目指すべき組織風土や組織の活性化に向けて、職場が一体となってチームとして取り組んでいくための手法を学ぶ。



#### **施策14** 職場ミーティング等の励行

【目的】 業務の適切な進行管理や、職員同士のコミュニケーションの活性化を図るとともに、行動規範集の活用などを通じたコンプライアンス意識の醸成などを通して、仲間同士で助け合い、高いチーム力を持った、風通しの良い職場を作る。

#### **施策15** オフサイトミーティングや職場訪問等の実施

【目的】 相談しやすい、風通しの良い組織づくりを進めるために、一般職員と幹部職員の顔の見える関係づくりを行う。

### **(5) コンプライアンス全般に関わる施策**

#### **施策16** コンプライアンス推進に係る役職者への研修の実施

【目的】 各局区におけるコンプライアンスの推進を図るために配置する役職者が自らの役割を理解し、実践することに資する知識や能力を習得することにより、コンプライアンス意識の根付いた組織風土を醸成する。

#### **施策17** 定期通信の発行

【目的】 コンプライアンス意識の浸透を図っていくために、日頃の業務の中で職員個々人がコンプライアンスについて考えるきっかけにするとともに、各所属における朝礼等での意見交換の題材として、活用を図る。

## 4

# 推進に向けて

### (1) アクションプランの策定・推進

推進計画における各施策の目的を着実に実現していくために、年度ごとに「仙台市コンプライアンスアクションプラン」を定め、計画的に取り組みを推進していきます。

### (2) 推進体制の運用

各種のコンプライアンスに関する施策を展開していくために、庁内における推進体制を運用し、組織的にコンプライアンスの推進を図っていきます。

また、外部有識者を交えた「仙台市コンプライアンス推進委員会」において、庁内における取り組み状況について適宜報告し、助言を受けながら、施策の見直しや企画の検討を行っていきます。

### (3) 職員が意欲を持って仕事に取り組むための仕組みづくり

職員一人ひとりが高い意欲を持って仕事に取り組んでいくことができるように、複線型の配置管理や庁内公募制度の継続的な実施、人事評価制度の見直しなどのほか、仙台市職員表彰規程の積極的な運用を進めます。

### (4) 点検・評価とその対応

#### ① 職員意識調査による定点観測

職員のコンプライアンス意識の浸透状況や、職場環境などの組織風土を把握するため、定期的に職員への意識調査を実施します。

#### ② 施策の点検・評価と改善

職員意識調査の分析結果や、コンプライアンスに関する施策の実施状況に対する仙台市コンプライアンス推進委員会による点検、評価などを踏まえて、既存の取り組みの改善や新たな施策の実施など、必要な見直しを図っていきます。



総務局人材育成部  
コンプライアンス推進担当